

大きく分けると 3種類 あるヨ! 免許の種類

2級 海岸から5海里(約9km)以内&
平水区域で操縦可能

1級 すべての海域で操縦が可能
※ただし乗るボート毎に定められた航行区域に従うものとする

特殊 水上オートバイを操縦できる
※航行可能区域は海岸や湖岸から2海里(約3.7km)以内

1級と2級の
乗れるフネの種類は同じ!!
24m未満のプレジャーボート
※その他船舶は20トン未満

乗れるフネの例

やりたいことからピッタリな免許を選ぼう!

釣り、クルージング、トーイングスポーツ……何をしたいかでいろんなボートが選べるよ!

1級小型船舶操縦士 & 2級小型船舶操縦士

クルーザー



フィッシングボート



スポーツボート



セールボート



あなたは
ボート派? それとも
水上オートバイ派?

特殊小型船舶操縦士

水上オートバイ



水上オートバイ



子どもと
大人の
夢をかなえる



海は
街より
刺激的プロジェクト

[2級・受験コース]

Boat免許取得の流れ

Boat免許は
約10万円で
取得できる!

Boat免許は
最短3日で
取得できる!

Boat免許は
16歳から
取得できる!

1 日程を決める

免許スクールの講習日と国家試験の日を決めます。スクールの会場や日程、空き情報、国家試験の日程は、インターネットで見ることができます。

2 受講の予約をする

免許スクールを行っているマリナーや販売店等の窓口、あるいは電話やオンラインで予約をします。後者の場合は申込書などが送付されてきます。

3 必要書類を提出

受講のために必要な書類(※は申し込み時に入手)を用意し、提出します。なお、オンラインでの申し込み完了直後からインターネットで学科講習が受講できるコースが設定された免許スクールもあります。

■必要な書類

- ・受講申込書※
- ・証明写真
- ・本籍地記載の住民票
- ・委任状※
- ・受講票送付用封筒※

4 教材・予約票などが届く

教本、問題集、ロープワーク実習用のロープなどのセットが届きます。

5 学科講習を受講する

学科講習の内容は大きく三つ、「小型船舶操縦者の心得及び遵守事項」「交通の方法」「運航」です。海上での交通ルールや法律、標識、ボートの操縦の仕方、エンジンや気象に関する基礎知識などを学びます。耳慣れない用語も出てきますが、講師は教え方も上手で、興味をもって受講できるはず。

学科講習はオンラインでも!

免許スクールによっては、学科講習をオンラインで受講できる場所もあります。通勤途中やちょっとした隙間時間などを利用して、効率よく自分のペースで勉強することができるので、忙しいビジネスパーソンなどには特におすすめです。オンライン受講後の実技講習と国家試験を、1日で受けることが可能な場合もあります。

6 実技講習を受講する

実技講習は(最大)3人一組で教習艇に乗り込み、実技試験の内容に沿って「小型船舶の取扱い」「基本操縦」「応用操縦」を習います。応用操縦では、ブイを落水者に見立てた人命救助や離着岸などがあります。

7 受験に備え学科を自習

国家試験までは通常1~2週間程度の期間があるので、問題集などで学科の勉強をします。実技講習で習ったロープワークも反復的に練習しておきましょう。

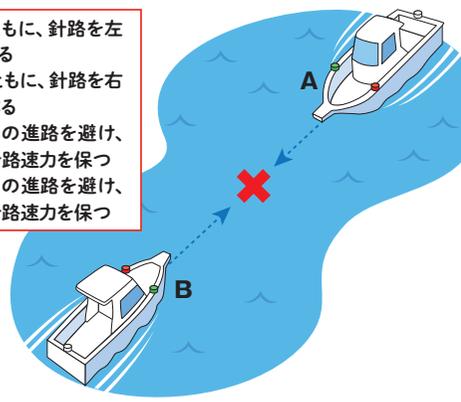
8 国家試験を受ける

国家試験は、まず身体検査が行われます。身体検査にパスすれば引き続き学科試験、そして実技試験を受けます。学科試験は「小型船舶操縦者の心得及び遵守事項」「交通の方法」「運航」の3科目から合計50問が出題され、正解率が各科目50%以上、かつ全科目合計65%以上で合格。実技試験は右下図のような内容で所要時間は1人あたり約30分。「小型船舶の取扱い」「基本操縦」「応用操縦」の3科目合計で、各科目の60%以上、合計70%以上の点数で合格となります。

学科試験の例題

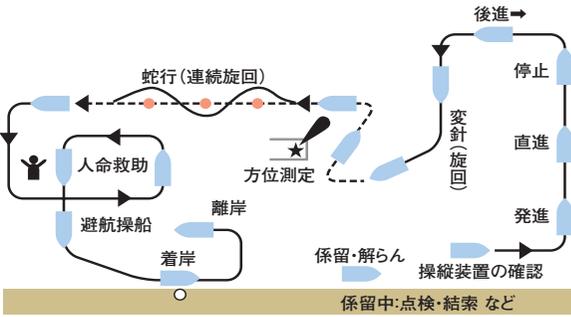
Q 下図のように、航行中の2隻の動力船が真向かいに行き合い、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは次のうちどれか

- (1) A、Bともに、針路を左に転じる
- (2) A、Bともに、針路を右に転じる
- (3) AはBの進路を避け、Bは針路速度を保つ
- (4) BはAの進路を避け、Aは針路速度を保つ



(Z): 正解

実技試験の内容



- | 小型船舶の取扱い | 基本操縦 | 応用操縦 |
|----------------|-------------|---------|
| 1. 発航前の点検 | 1. 安全確認 | 1. 人命救助 |
| 2. 機関運転 | 2. 発進・直進・停止 | 2. 避航操船 |
| 3. トラブルシューティング | 3. 後進 | 3. 離岸 |
| 4. 解らん・係留 | 4. 変針 | 4. 着岸 |
| 5. 結索 | 5. 蛇行 | |
| 6. 航海計器の取扱い | | |

9 免許申請

国家試験に合格したら免許申請をします。試験機関から発行された「操縦試験合格証明書」に、操縦免許申請書、顔写真、住民票、納付書(登録免許税1,800円を納付)をそろえて地方運輸局に申請すると、操縦免許証が交付されます。普通はスクールで申請を代行してくれますが、海事代理士に依頼したり、自分で申請することも可能です。

10 免許証交付

無事、ボート免許GET!